

舟入高

サッカー部ニュース

発行日：2013年（平成25年）12月1日

発行人：井内 快介

編集者：舟入高校サッカー部OB会

発行所：舟入高校サッカー部OB会事務局
〒730-0847

広島市中区舟入南1-4-4
舟入高内
(082)232-1261

祝 サンプルチェ広島連覇！



選手権広島県大会一回戦 対井口高校戦

雨ニモマケズ風ニモマケズ観戦したOB: 井上前会長、石田（成長さんも?)

昨日からの雨でグラウンドには至る所に水たまりがあり、ぬかるんだ状態。試合開始後すぐに、ディフェンスを超えペナルティエリア前にバウンドしたボールを、キーパーが出てきて“お約束”の空振り（水たまりの中にバウンドしたので難しかった）。ディフェンスに気合いを入れます。

前半 18 分に舟入が右サイドを崩して先制しましたが、10 分後にフリーキックを直接決められ同点とされました。

同点で迎えた後半、舟入が何度か際どいシュートを放ったり、押し気味に試合を進めましたが得点できず、PK戦となりました。

PK戦は土砂降りの中、両チームとも5人が決めた後の6人目。先ず井口が決め、後半終了間際足が攣っていた舟入の選手のキックはバーに弾かれ5-6で敗戦となりました。

特に後半得点チャンスが何度かあっただけに、惜しい試合でした。

ここまで残った3年生も1・2年の新チームも、新たな目標に向かって頑張って貰いたいです。

場所：広島県立井口高等学校

（石田敏さんの Facebook の投稿を転載しました）



舟入高校サッカー部戦績(3月~)

▶第39回 アシックス杯西日本サッカーフェスティバル 試合結果

| | | | |
|---------|-----|-------|-------|
| 広島舟入高校 | 1-2 | 米子北 | 3月28日 |
| 広島舟入高校 | 0-3 | 米子北 B | 3月28日 |
| 広島舟入高校 | 1-0 | 武蔵台 | 3月28日 |
| 広島舟入高校 | 3-0 | 明王台 | 3月29日 |
| 広島舟入高校B | 1-2 | 益田翔 B | 3月29日 |
| 広島舟入高校 | 4-2 | 益田翔陽 | 3月29日 |
| 広島舟入高校 | 0-4 | 八頭 | 3月30日 |
| 広島舟入高校B | 2-2 | 八頭 B | 3月30日 |
| 広島舟入高校 | 4-0 | 平田 | 3月30日 |

▶第66回広島県高等学校総合体育大会サッカーの部 - 広島地区Aブロック 試合結果

| | | | |
|--------|-----|-----|-------|
| 広島舟入高校 | 1-1 | 安古市 | 4月27日 |
| 広島舟入高校 | 0-1 | 賀茂 | 4月13日 |

▶第3回ミカサカップ 試合結果

| | | | |
|---------|-----|--------|------|
| 広島舟入高校 | 0-5 | 五日市 | 5月3日 |
| 広島舟入高校B | 1-0 | 五日市 B | 5月3日 |
| 広島舟入高校 | 0-0 | 膳所 | 5月3日 |
| 広島舟入高校B | 1-3 | 膳所 B | 5月3日 |
| 広島舟入高校 | 0-4 | 高松北 | 5月4日 |
| 広島舟入高校 | 1-1 | 綾羽 | 5月4日 |
| 広島舟入高校 | 2-0 | 下関中央工業 | 5月5日 |
| 広島舟入高校B | 1-1 | 開星 B | 5月5日 |

▶第92回全国高校サッカー選手権広島県大会 試合結果

| | | | |
|--------|-----|----|-------|
| 広島舟入高校 | 1-1 | 井口 | 8月31日 |
|--------|-----|----|-------|

▶高円宮杯U-18サッカーリーグ2013 HiFAアドバンスリーグ 3部Cリーグ(ホーム&アウエー)試合結果

| | | | |
|--------|-----|----------|--------|
| 広島舟入高校 | 3-3 | 広島なぎさ | 10月14日 |
| 広島舟入高校 | 6-0 | 新庄 | 6月23日 |
| 広島舟入高校 | 0-0 | 県立広島高等学校 | 7月13日 |
| 広島舟入高校 | 1-0 | 福山 | 5月12日 |
| 広島舟入高校 | 7-0 | 修道 B | 6月30日 |
| 広島舟入高校 | 1-2 | 高陽高校 B | 4月7日 |
| 広島舟入高校 | 3-5 | 可部高校 | 4月29日 |

Away

| | | | |
|--------|-----|----------|--------|
| 広島舟入高校 | 1-5 | 広島なぎさ | 11月16日 |
| 広島舟入高校 | 6-0 | 新庄 | 10月12日 |
| 広島舟入高校 | 3-3 | 県立広島高等学校 | 11月4日 |
| 広島舟入高校 | 1-1 | 福山 | 9月16日 |
| 広島舟入高校 | 2-1 | 修道 B | 9月23日 |
| 広島舟入高校 | 4-0 | 高陽高校 B | 7月21日 |
| 広島舟入高校 | 3-2 | 可部高校 | 10月27日 |

私が出会った和の匠



タイトルの写真は日本リーグ（JSL）日立対新日鐵の試合のシーンである。説明には「日本の誇る2人のテクニシャン、宮本（新日鐵、左）と野村（日立）の巧妙なチャージング」とある。68年メキシコオリンピックで銅メダルを獲得したチームの中でも、テクニックでは随一と評された宮本輝紀、日立の中心選手で、中盤でゲームをつくりながら前線へ進出してゴールも奪い、第1回JSLで得点王にもなった野村六彦。二人は、当時を代表するテクニシャンと誰もが認める存在だった。

ともに広島県出身で、野村が舟入高、宮本が山陽高で全国大会でも活躍し、野村は中大を経て日立に、宮本は新日鐵の前身であった八幡製鉄入りした。そこまでの経歴はよく知られている。だが、二人が同じ中学で技を磨き合ったことはあまり知られていない。二人を育んだ源流はつながっていた。「輝紀は私より1学年下で、サッカーが盛んだった千田小学校から国泰寺中学に入ってきた。千田小には三保先生という、熱心な指導者の方がいて、そこから来る選手が多かったんで

す。私と同期の大石（信幸）や、輝紀、もう一つ下の上（久雄）ら、みんな山陽高から八幡製鉄に行って日本代表にもなりました。」広島は当時からサッカーの盛んな地域ではあったが、小学校から指導者に恵まれるケースは限られる。野村自身、市内中心部の袋町小学校の出身で、中学に入ってからサッカーを始めた。「大石たちに、宮本っていう1年生が入ってくるけど、こいつはうまいぞ、と聞いていました。」

国泰寺中を率いていた平松征司監督はサッカーへの造詣が深く、のちには県協会の要職に就く人物で、ユニークな指導が選手たちの技術や意識を高めた。隣接する県立国泰寺高は旧広島1中、県内ばかりか全国でも有数の名門だ。国泰寺中は私立で、直接の関係はないが、身近な存在であり、OBも数多く進んでいたことから、レギュラークラスを国泰寺高の練習に参加させていた。

今でいう、Jクラブの「一貫教育」で、昭和30年代に、それも全国レベルの選手たちによって体験できた中学生は希少だったろう。野村、大石らに宮本が加わった国泰寺中は全国大会がまだない時代ながら、県内で行われる試合は連戦連勝だった。中学を卒業すると、野村は当時「3強」と謳われた、広大附属、国泰寺、修道ではなく、舟入高へ進んだ。当時の校長が「3強」に負けないサッカー部をと強化しており、誘いを受けたからだった。「輝紀も私を慕ってくれていて『ノムさんわしも舟入へ行きたい』と言っていました。私を入学させてくれた事情からすれば、輝紀も入れるだろうと『わかった』なんて請け合っていたのですが、受験制度が変わって、彼の地域からは入りづらくなってしまった。」このため、宮本は大石（信幸）が進んだ

私立の山陽高へ。野村が覚えているのは自身が3年となり舟入高のキャプテンだった高校選手権予選での対戦だ。「その年、藤枝で行われた国体で山陽は準優勝をしていました。当時は選手権と国体が2大会でしたから、実力は全国トップレベル。試合前の練習でも周囲を圧倒する雰囲気があった。輝紀もすっかり大きくなった感じがしました。」ところが試合は舟入が勝ち、全国へのキップを手にする。野村の宮本に対する意地が勝ったということだろうか。高校卒業後、野村は中大を経て日立へ、宮本は八幡製鉄（70年より新日鐵）へ進んだ。

65年にスタートしたJSLで日立と八幡は毎年2回対戦している。「ライバル意識はありましたね。試合でもよく当りましたから。輝紀はダイレクトでパスをさばくのがうまくて、相手の弱みをすぐに突く。感覚が鋭くて、相手が近づいてくるのが分かるんですよ。だから、さっとかわしていなしてしまふ。後ろに目がついてやるようでした。」初めの6年間、野村の日立は、宮本率いる八幡に1勝もできなかった。

しかし、70年代に入り元日本代表監督の高橋英辰が監督に就任すると、様相が変わる。「走る日立」と呼ばれるようになるチームは、その運動量で優勝争いに顔を出す。その中心は野村だった。新日鐵にも初勝利を挙げ、そして翌72年には前期こそ3-4という激戦を展開して敗れたが、後期の対戦では3-0の勝利。初めて宮本のチームに快勝した試合で、日立はJSL初優勝を決めている。もう1人の小柄なテクニシャンは、高校時代と同様、ここでも意地を見せていた。

（週刊サッカーマガジン2013.7.16、2013.7.26抜粋、文国吉好弘、文中敬称略）

3年生を送る会

11月17日に広島市中区の文化交流会館（旧厚生年金会館）にて、3年生を送る会が開催されました。今年は3年生が17名、女子マネージャーが2名サッカー部を巣立って行きます。毎回感じるのですが、保護者会の方々の生徒たちへの思いがとても熱くて、これ程の環境の中でサッカー出来て“みんなは感謝せんといけんで”生徒達もそこは感じている様で、個人スピーチの時に顧問の先生たちへの感謝と、親御さん達（特にお母様）への感謝の気持ち

を口にする生徒が多いようです。中には衝撃の告白（サッカー部に入った経緯や、病欠の本当の理由など）をする生徒も、それでも最後には“このメンバーで舟入でサッカー出来たことを感謝します。”（少しジーンとする）と話すのを聞くと、改めてスポーツ（特にサッカー）って良いね～と感じます。

この先の人生において様々な困難や試練が有ると思いますが、舟入の

サッカー部でしたの一言で多くのOB達が助けてくれます、それが舟入高校サッカー部OB会です。これからは舟入高校サッカー部OB会の一員として、後輩たちの応援をよろしく。



わらやにて

7月6日 31期の平さんのお店「わらや」にて30-33期が集まりました。30数年ぶりの再会が沢山ありました。「なんでお前あん時に点が入られんかったんや～」
「いや違いますよ、あの時先輩からのパスが、、、」と当時

へタイムスリップ。

体育会系ならではのひと時を過ごしました。

学年を超えたこういった会もまた良いものですね。





平成26年度 初蹴りのご案内

恒例の“広島舟入高校サッカー部 初蹴り”が舟入高校グラウンドにて開催されます。日時は以下の通りです。今年はサンフレッチェ広島のJ1奇跡の大逆転優勝で盛り上がった広島サッカー界、31期の土屋さんのシニア全国大会優勝と頑張っているOB達に負けずに、体の許す限り一緒に良い汗を流しましょう。

日時：平成26年1月3日 午前10時から

場所：広島舟入高校グラウンド



平成26年度舟入高校サッカー部OB会総会のご案内

平成26年度舟入高校サッカー部OB会総会を以下の日時にて開催いたします。会員の皆様におかれましては、多忙の毎日をお過ごしのことかと思いますが、出席の程よろしくお願ひします。後日改めてご案内をさせていただきます。

日時：平成26年2月22日(土)PM 6:00～

場所：ひろしま国際ホテル